

703 定期演奏会

The 703rd Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

話題のHIMARIと
モーツァルトのレクイエムが
一度に聴ける
スペシャルプログラム

2025. **8.29** 金 **8.30** 土
Fri, August 29, 2025 / 7:00PM Sat, August 30, 2025 / 2:30PM

開演 午後7時 開演 午後2時30分
(午後6時開場) (午後1時30分開場)

Kyoto Concert Hall

京都市交響楽団

京都コンサートホール

京都市営地下鉄丸太町線・北山駅下車
出口1・3番から徒歩約5分

ドヴォルザーク: ロマンズ ヘ短調 op.11*
ヴィエニャフスキ: ファウスト幻想曲 op.20*
モーツァルト: レクイエム ニ短調 K.626*



ソプラノ:
石橋 栄実*
Soprano: Emi Ishibashi*



メゾ・ソプラノ:
中島 郁子*
Mezzo Soprano: Ikuko Nakajima*



テノール:
山本 康寛*
Tenor: Yasuhiro Yamamoto*



バス・バリトン:
平野 和*
Bass Baritone: Yasushi Hirano*

合唱:
京響コーラス (合唱指揮: 浅井 隆仁)
Chorus: Kyoto Symphony Chorus* (Chorus Master: Takahito Asai)

指揮:
ヤン・ヴィレム・デ・フリース
(首席客演指揮者)

Conductor: Jan Willem de Vriend (Principal Guest Conductor)
©Marco Borggreve



ヴァイオリン:
HIMARI*
Violin: HIMARI*
©Meredith Truax

©京都市交響楽団

入場料 2025.6.20 金 から発売

◎6,000円 ▲5,500円 ◎4,500円 ◎3,500円 ◎3,000円 (舞台後方席)

U30 前売 【一般発売に併せて販売】◎2,500円 ▲2,000円 ◎1,500円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご入場の際に年齢の確認ができる証明書の提示をお願いする場合がございますので必ずご持参ください。※オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> で販売 (チケットカウンター、チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。※販売席数は限定。

U30 当日 【当日残席がある場合のみ発売】◎2,500円 ▲2,000円 ◎1,500円 ◎1,000円 ◎1,000円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご購入の際には年齢の確認ができる証明書の提示が必要となります。※開演1時間前から発売 (当日券売場にてお買い求めください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べませんが、座席指定はできません。

金曜ペアチケット (8/29公演) ◎10,000円 ▲9,000円 ◎8,000円

※2名様での購入がお得なチケットです。※オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>、チケットカウンターで販売 (チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。※販売席数は限定。※他の割引特典等との併用はできません (京響友の会、Club会員、障がい者割引)。

◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2025年8月22日までに京響075-222-0347へお申し込みください)
◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱い (窓口で手帳等の証明書を提示ください)。

チケット

ご予約

お問い合わせ

●京都コンサートホール 075-711-3231 ●ロームシアター京都 075-746-3201
●24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード 280-851
●ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード 52591

京都市交響楽団075-222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/> →
京都コンサートホール075-711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>
◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



主催: 京都市交響楽団(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市
協力: 株式会社ドルチェ楽器 後援: (株)エフエム京都

協賛: ローム株式会社、介護付有料老人ホーム 京都ヴィラ

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



The 703rd Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

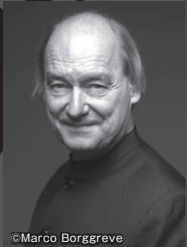
第703回 定期演奏会

2025年3月ベルリン・フィルの定期公演にデビューして大きな話題を呼んでいる13歳の天才ヴァイオリニストHIMARIが登場。旋律の美しさと聴かせるドヴォルザークとロマン派スタイルの超絶技巧で繰り広げられるヴィエニャフスキの2曲で「彼女の今」をたっぷりとお楽しみいただきます。後半はモーツァルトのレクイエム。首席客演指揮者のヤン・ヴィレム・デ・フリースはモーツァルトへの造詣が深く、実力派揃いの独唱歌手、京響コーラスと万全の布陣で臨みます。独自の音楽観を持つデ・フリースとつくり上げる音楽史上屈指の名曲にどうぞ期待ください。

指揮

ヤン・ヴィレム・デ・フリース (首席客演指揮者)

Conductor: Jan Willem de Vriend (Principal Guest Conductor)



©Marco Borggreve

ヤン・ヴィレム・デ・フリースはウィーン室内管弦楽団首席指揮者、シュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団アーティスティック・パートナー。ベルギー国立管、香港フィル、hr響、メルボルン響、オランダ放送フィル、リヨン国立管、ロッテルダム・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、読響等にも定期的に客演。デ・フリースは、1982年に自ら創設し、2015年までコンサートマスターとしてリードしたコンパティメント・コンソート・アムステルダム音楽監督として国際的な名声を確立。17-18世紀の音楽を専門とし、バロック奏法をモダン楽器に適用することで、同コンソートは演奏機会が少ない数多くの作品に新たな生命を与えた。オペラの分野では、欧米において、デ・フリースはコンパティメント・コンソート・アムステルダムとモンテヴェルディ、ハイドン、ヘンデル、テレマン、J.S. バッハの作品をすべてエヴァ・ブッフマン演出により演奏。オランダ響とはモーツァルト、ヴェルディ、ケルビーニのオペラを取り上げ、同じくエヴァ・ブッフマン演出でスイス公演も行った。また、アムステルダム、バルセロナ、ストラスブール、ルツェルン、ジュヴェツィンゲン、ベルゲンでもオペラを指揮。2024/25シーズンは、マドリッドのRTVE響、ベルリン・コンツェルトハウス管、スタヴァンゲル響、ハーグ・レジデンティ管、トロント・ハイズ管、チューリッヒ・トーンハレ管、ハノーファー北ドイツ放送フィル、ワルシャワ国立フィルに再登場。さらにチャレンジ・クラシックスから「モーツァルト：ピアノ協奏曲第20&12番」(ピアノ：デヤン・ラツィック／ベルゲン・フィル)と「シューマン：交響曲第3&4番」(スタヴァンゲル響)、CPOから「エミリー・マイヤー：交響曲第4&6番」(ハノーファー北ドイツ放送フィル)という3つの新録音をリリース。2024年4月から京都市交響楽団の首席客演指揮者に就任。

www.janwillemdevriend.com

ヴァイオリン

HIMARI

Violin: HIMARI



©Naruyasu Nabeshima

2011年生まれ、13歳。卓越した技巧と豊かな表現力を備え、「一世代に一人の才能」と称される若きヴァイオリニスト。3歳でヴァイオリンを始め、6歳でプロオーケストラと共演。2022年、最年少でカーティス音楽院に入学。2025年3月には、ベルリン・フィル定期公演にアジア人最年少ソリストとして出演を果たす。国内外の主要コンクールで最上位を受賞し、著名オーケストラや世界的指揮者との共演も多数。2024年よりドイツの音楽事務所「KD SCHMID」に所属し、国際的活動を本格化。2025年はラヴィニア音楽祭、ロンドン・フィル、ピッツバーグ響、スイス・ロマント管などに招かれ、2026年2月にはシカゴ響定期公演に出演予定。Decca Classicsと契約し、デビュー音源「Carmen Fantasy」をリリース。江副記念リクルート財団第52回奨学生。使用楽器は1717年製ストラディヴァリウス「Hamma」(前澤友作氏より貸与)、弓は宗次コレクションより貸与。

オフィシャルウェブサイト (<https://himari-info.com/>)

オフィシャルインスタグラム (<https://www.instagram.com/himariviolin.official/>)

オフィシャルYouTube (<https://www.youtube.com/@himariviolinofficial3104>)



HIMARI
Official HP



HIMARI
Official Instagram



HIMARI
Official YouTube

ソプラノ

石橋 栄実

Soprano: Emi Ishibashi



大阪音楽大学専攻科修了。音楽クリティック・クラブ奨励賞、咲くやこの花賞、坂井時忠音楽賞、他受賞。1998年ドイツ・ケムニッツ市立劇場「ヘンゼルとグレーテル」にグレーテル役として招かれる。以来、新国立劇場「沈黙」『オ・ボエム』『フィデリオ』『ドン・ジョヴァンニ』、びわ湖ホール「カルメン」『ばらの騎士』他、多数のオペラに出演し続けている。また、バッハ「マタイ受難曲」、メンデルスゾーン「エリア」、モーツァルト「戴冠ミサ」「ミサ曲ハ短調」、ベートーヴェン「エグモント」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、マーラー「交響曲第4番」、R.シュトラウス「4つの最後の歌」、ベルク「7つの初期の歌」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ヴェルディ「レクイエム」、グノー「聖チェチリア荘厳ミサ」、バルトーク「青ひげ公の城(演奏会形式)」などで全国のオーケストラと共演。大阪音楽大学教授。

テノール

山本 康寛

Tenor: Yasuhiro Yamamoto



京都市立芸術大学大学院修了。第82回日本音楽コンクール第2位(オペラ部門)、第32回飯塚新人コンクール第1位並びに文部科学大臣賞、平和堂財団芸術奨励賞、青山音楽賞「音楽賞」、五島記念文化賞オペラ新人賞など数々受賞。びわ湖ホール声楽アンサンブル専属歌手として6年間在籍後、五島記念文化財団(現：東急財団)の奨学生として渡伊。W.マッテウツィ氏の元で研鑽を積み、第九や、バッハやモーツァルトの宗教曲のソリストはじめ、オペラでは、2014年びわ湖ホール「死の都」(日本初演)では主役のバウルに抜擢、2016年イタリア・ベザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバルでは「ランスへの旅」でイタリアデビュー。びわ湖ホール、日生劇場、藤原歌劇団、日本オペラ協会などの主要キャストとして出演。昨年11月には新国立劇場デビューも果たした。現在、びわ湖ホール四大テノールメンバー、藤原歌劇団、日本オペラ協会各団員。

メゾ・ソプラノ

中島 郁子

Mezzo Soprano: Ikuko Nakajima



東京藝術大学卒業。同大学院修了後、文化庁海外派遣研修員として渡伊。第15回リカルド・ザンドナイー国際声楽コンクール(伊)ザンドナイー特別賞受賞。オペラでは、二期会「イル・トロヴァトーレ」アズチーナ、「蝶々夫人」スズキ、新国立劇場「ジャンニ・スキッキ」チェスカ、日生劇場「セビリアの理髪師」ロジーナ、「メデア」ネリスの他、びわ湖ホール「ワルキューレ」フリッカ、「神々の黄昏」ワルトラウテ、「ファルスタッフ」クイックリー等に出演。近年では、東京・春・音楽祭イタリア・オペラ・アカデミー「仮面舞踏会」ウルリカ、C.ミョンフン指揮「オテロ」エミリア、J.ノット指揮「ばらの騎士」アンニーナ等に出演し、好評を博す。コンサートでも、モーツァルト、ヴェルディ及びデュリュフレ「レクイエム」、マーラー「復活」「大地の歌」「千人の交響曲」等でソリストを務め、高い評価を得ている。東京藝術大学准教授。二期会会員。

バス・バリトン

平野 和

Bass Baritone: Yasushi Hirano



日本大学芸術学部、ウィーン国立音楽大学修士課程を首席で修了。グラーツ歌劇場、ウィーン・フォルクスオーパーの専属歌手を経てウィーンを拠点に活躍。ウィーン交友協会、ベルリン・フィルハーモニーなどで佐渡裕、N.アーノンクールら数々の著名指揮者と共演。ブレゲンツ音楽祭の湖上オペラ「トットランドット」「カルメン」に、日本では新国立劇場「ドン・ジョヴァンニ」、びわ湖ホール「ニュルンベルクのマイスタージンガー」「フィガロの結婚」、兵庫県立芸術文化センター「ラ・ボエム」「ドン・ジョヴァンニ」、バッハ・コレギウム・ジャパン「魔笛」「ドン・ジョヴァンニ」、紀尾井ホール室内管弦楽団「コジ・ファン・トゥッテ」、セイジ・オザワ松本フェスティバル「ジャンニ・スキッキ」など出演多数。オーケストラとは「第九」をはじめ、「ドイツ・レクイエム」「ミサ・ソレムニス」等のソリストを務める。CDはシューベルト「冬の旅」を日本アコースティックレコーズからリリース。 X(旧Twitter) @YasushiHirano

合唱 京響コーラス

(合唱指揮：浅井 隆仁)

Chorus: Kyoto Symphony Chorus

(Chorus Master: Takahito Asai)

1995年秋、京都コンサートホールが完成した当時の京響常任指揮者&音楽監督・井上道義の提唱で「京響第九合唱団」として結成。その後「京響市民合唱団」と改名し、2012年からはさらに音楽的な高みをめざして、京響の自主演奏会を軸にオーケストラ合唱作品に取り組む「京響コーラス」と名称を変更、創立者の井上道義を創立カベルマイスター、当時の京響常任指揮者広上淳一をスーパーヴァイザーに迎えて新たにスタートした。現在、約130名の団員で構成されており、毎週月曜日の夜を中心に京響練習場・京都市内文化会館等で練習を行っている。

京都市交響楽団

City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つ。〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指している。京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、小中学生を対象とした音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会など、多彩な活動を行っている。2023年常任指揮者に沖澤のどか、2024年首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリースが就任。2026年には創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとしてさらなる発展を目指す。